



D.I. 質問箱

Q46

風疹ウイルス検査の HI 法とラテックス（LA）法の違いについて教えてください。

A46

両法とも既往感染の有無を調べる検査です。

HI 法は外注検査で、報告までに 3～5 日要します。

LA 法は検査センター内で実施していますので、翌日の報告が可能です。

	風疹ウイルス検査	
測定方法	HI法	LA法
	赤血球凝集抑制反応 (半定量)	ラテックス免疫比濁法 (定量)
基準値	8倍未満	10 IU/ml

風疹ワクチン接種目安	
HI法	LA法
16倍以下	31 IU/ml以下

風疹ウイルス検査 HI法とラテックス(LA)法との換算表	
HI法	LA法
8倍未満	0～5 IU/ml
8倍	6～15 IU/ml
16倍	16～31 IU/ml
32倍	32～63 IU/ml
64倍	64～127 IU/ml
128倍	128～255 IU/ml
256倍	256～511 IU/ml
512倍以上	512 IU/ml以上

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）まで

0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



寒さも峠を越し、春らしい暖かさを感じられるようになってきました。

さて、今月号は「学童健診」を特集させていただきました。健診開始以来、協力医、判定委員の先生方をはじめ多くの先生方のご尽力のおかげで、着実に成果をあげてきました。たとえば、日本の若年層における透析新規導入率は、学校検尿システムのない米国に比較すると4分の1なのだそうです。

私たちも、このすばらしい日本の学童健診に誇りを持ち、ますます精度と受診率を高めるよう努力してまいりますので、よろしくご指導のほどお願いいたします。

熊川 良則（検査科科长補佐）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博

